

本科3期1月度1回目

Z会東大進学教室【体験授業用教材（抜粋版）】

高1東大国語



目次

はじめに	2
27章 問題(演習)	4
問題(自習)	6
『宇治拾遺物語』	
28章 問題(演習)	10
問題(自習)	14
会田雄次『日本人の意識構造』	
佐藤信夫『レトリック認識』	
29章 添削課題	18
問題(自習)	22
『韓昌黎文集』	
『説苑』	
30章 問題(演習)	24
問題(自習)	30
神西清『少年』	
山本七平『日本人の人生観』	
31章 問題(演習)	34
問題(自習)	38
山崎正和『物神崇拜と動物愛護ののちに』	
西脇順三郎『じゅんさいとすずさ』	
32章 問題(演習)	42
問題(自習)	46
梅原猛『美と倫理の矛盾』	
辻井喬『伝統の創造力』	
33章 添削課題	50
問題(自習)	52
『枕草子』	
『源氏物語』	
34章 問題(演習)	54
問題(自習)	56
『古今著聞集』	
『搜神記』	
35章 問題(演習)	60
問題(自習)	62
『世説新語』	
付録 古文活用一覧	64

Ⅰ Z会の教室 国語の指導方針

国語で安定した得点をとるためには、問題文の主題をとらえて正確に文章構造を見抜く読解力と、読解の結果を「解答」として採点者に正しく伝える言語運用能力を鍛える必要があります。

こうした学力の養成に向けて、国語科では「量」ではなく「質」を重視するというZ会の指導理念に則った指導を行います。むやみに多くの文章を読み流し、ひたすら多くの設問を解くのではなく、一つの文章にじっくりと取り組み、詳細な解説講義を行います。単にその問題をどう解くか、という観点にとどまらず、「同じテーマ・ジャンルの文章にはどのように対処するか」「このタイプの設問にはこうアプローチしていく」といった、他の問題にも応用可能な「考え方」を習得していくことを重視します。これにより、いかなる問題文が出題されても読解・解答できる力を養成します。

Ⅱ 授業のしくみ

授業では「問題（演習）」もしくは「添削課題」を扱います。

予習

授業時間内に演習に取り組むため、原則として予習は不要です。ただし、授業の内容をより効果的に理解するために、事前に問題文に目を通しておくといふ場合があります。別途担当講師から指示が出た場合は、そちらに従ってください。

※映像授業をご受講の皆様

- ・映像で問題演習の指示が出たら、映像を停止して問題に取り組みましょう。
- ・映像をご受講いただく前に、各講座のオリエンテーション映像をご覧ください。

授業内

解説授業を行います。「量」よりも「質」を重視しますので、授業では原則大問一題のみを扱います。問題文の丁寧な読解を通して、語彙の増強・論理構造の把握・文章の背景知識の伝授など、密度の濃い授業を行います。

設問の解説では、問題文の正確な内容理解を土台に、選択式・記述式それぞれの設問についての正答に至るための考え方を確認していきます。選択式の問題では、どのように正解の選択肢を見極めていくか、記述式の問題では、設問の要求を見極めて解答を作成する手順を確認していきます。

表現の細部にまで徹底的にこだわり、指定字数の長短に応じて、日本語として完結した正確な表現をまとめる訓練をします。

復習

集中して授業に取り組み、講師の解説をしっかりと聞いた皆さんであれば、授業終了後は問題文の内容・設問の解法ともに、完全に理解できているはずです。まずは当日のうちに、授業での学習内容を振り返りながら、問題文をもう一度読み直しましょう。現代文では、文章の内容だけでなく、対比や例示といった「論理展開」も十分に意識しながら読み直しましょう。古文・漢文では、一つ一つの文について、意味の分からない語句が残っていないか、また文法的に理解がややふやなところがないかを確認しながら読み進めます。問題文を何度も音読してみることが効果的です。設問については、「なぜそれが正解になるのか」「なぜこのような解答になるのか」を、他人にも説明できるくらいまで、解答に至る筋道を、本文中に根拠を求めながらも一度確認しましょう。

三 テキストの構成

● 要点

学習のポイントや、基礎知識をまとめてあります。

● 問題（演習）

授業で扱う問題です。

● 添削課題

授業で扱う問題です。

添削課題の取り組み方については、スタッフ・講師からの指示もしくは受講マニュアルに従ってください。

※◇が付いている設問は、クラス授業における重点課題です。担当講師の指示に従って取り組んでください。

※「理解を深める」の取り組み方は、クラス授業担当講師の指示に従ってください。

● 問題のレベルについて

問題のレベルを★の個数によって三段階で表します。

★：基礎

★★：標準

★★★：応用（発展）

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

今は昔、*おのみやどの小野宮殿の御子みこに、*少将なる人おはし

1

*すけまさ佐理の大式だいしの親なり。はかなく①わづらひて失せ

に **2** ば、小野宮殿、泣き焦こがれたまふこと限りなし。さて、②忌はてがたになるほどに、この少将の御(a)乳母ちちの、

(b)陸奥国(c)の守まもの妻つまになりて行きたりけるが、「若君、かく失せたまへり」とも知らで、恋しく③わびしきよしを書

きて、馬たてまつりけるにそへて、(1)御文みまことまゐらせたりける。かへりこと返事、小野宮殿ぞ書きてつかはし

3

「その人は、そのほどに、はかなくわづらひて失せにしかば、④ここには今まで生きたることをなん心憂くおぼ

ゆる」とばかり書きて、(2)歌をなん詠みてつかはしける。

まだ知らぬ人もありけり(3)東路ひがしに我もゆきてぞ過ぐべかりける

と書きてつかはしけるを見て、乳母いかなる心地しけむ。

(『今昔物語』)

問1 空欄1～3に過去の助動詞「けり」を活用させて入れなさい。

*小野宮＝藤原実頼(さねより)。平安中期の公卿。
 *少将なる人＝藤原敦敏。
 *佐理の大式＝小野道風(とうふう)、藤原行成(ゆきなり)とともに三蹟とよばれる、有名な書家。
 *東路＝東国地方。

問2 傍線部(a)～(c)の語の読みを歴史的仮名遣いで記しなさい。

問3 傍線部①～④の語の意味を記しなさい。

問4 傍線部(1)、(2)は誰から誰に送った手紙か、文中のことばで記しなさい。

問5 傍線部(3)について

I 現代語訳しなさい。

II また、なぜこのように言うのか、その理由を分かりやすく記しなさい。

体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。

Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

《体験授業後の流れ》

お申し込み方法

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。

※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。

※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。

※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。

※本科授業は、「**クラス授業**」「**映像授業**」「**個別指導**」が選べます。「時間の都合がつかない」「授業内でわからない部分だけを学習したい」という方には「**映像授業**」を、「映像授業で学習した内容で難しかった部分をしっかりと理解したい」という方は、映像授業を受講した後で個別を指導を受けられる「**個別指導**」を、それぞれおすすめします。

※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。予めご了承ください。

通話料 無料 **0120-2828-76** 月曜日～土曜日 12:00～20:00
(休室日を除く)

各教室電話番号	御茶ノ水教室	03-5296-2828	池袋教室	03-5985-2828
月曜日～土曜日	渋谷教室	03-5774-2828	横浜教室	045-313-2828
14:00～21:00	新宿教室	03-5304-2828	葛西教室	03-5878-0844
(休室日を除く)				

お申し込み後の流れ

お申し込みから1週間以内に手続書類（入会書類、お支払いについて、会員証など）をお送りします。

※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加は可能です。

※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

お申し込み後、テキストを各教室窓口にてお受け取りください。

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

講座選択に迷ったら…

学習相談は随時承っています。お電話でのご相談も可能です。

受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

Z会の教室の受講サポート — 万全のシステムで効果的な学習をサポートします —

1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。

疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。他教室への振替、映像授業（教室・自宅での受講）への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。

※振替手続は一週前の月曜日から可能です。

3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随時承っています。

4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。